
目 次

- 【01】 事業報告1
 - 外国人のための防災セミナー実施 (とよなか国際交流協会との共催事業)
 - 東北報告
- 【02】 留学生特集
 - 専門学校の留学生受入と大阪府内の留学生の今後を考える
 - 府内の留学生受入状況
 - 大阪府堺留学生会館オリオン寮の紹介
- 【03】 外国人情報コーナー
 - 子どもが生まれたら (新しい制度になってから)
- 【04】 OFIX国際交流員のレポート
 - 笑うフィリピン人

【01】 事業報告1

- 外国人のための防災セミナー実施 (とよなか国際交流協会との共催事業)

当財団では防災関連事業として、これまでは外国人市民向けの避難訓練や、災害時多言語支援センター立ち上げ訓練などを行ってきましたが、やはり防災力の鍵になるのは、地域連携であると考え、地域に根差した災害時外国人支援を推進し、更なる地域力・防災力の向上をねらいとして、今年度より地域の国際交流協会等と共に防災事業を実施することといたしました。今回はその取り組みの第一弾として、(公財)とよなか国際交流協会との防災訓練を紹介いたします。

『外国人のための防災セミナー』

日時 平成24年7月27日(金) 10:30から12:30
場所 とよなか国際交流センター

豊中市消防本部のご協力のもと、火の取り扱いを注意喚起するDVD上映の後、防災士の方より火災報知機の重要性に関する講義に続いて、とよなか国際交流センターで火事が発生したという想定で、避難訓練が行われました。訓練終了後には、消火器の使い方もご指導いただき、外国人参加者だけでなく、日本人参加者にとっても、とても勉強になる一日でした。

この事業では継続して共催希望団体を募集しております。
ご興味のある市町村・地域国際交流協会は、当財団までご相談ください。

- 東北報告

7月5・6日にかけて、岩手・宮城・福島 三県国際化協会主催による防災シンポジウム並びに被災地(南三陸町)視察に参加しました。

シンポジウムでは、冒頭に忘れられない、忘れてはならない、あの日の風景が、阪神・淡路大震災の被災地の夜を綴った楽曲『満月の夕』の調べと共にスクリーンに映し出されました。思わず目を背けたくなるような場面も、被災者ではない私達ですら自然に涙がでてしまうような場面も、全てが鮮烈に脳裏に残りました。そんな張りつめた空気の中、三県国際化協会の取り組みの紹介に続きパネルディスカッションが行われました。ディスカッションでは、三県に在住する外国人住民が登壇して、時には声を詰まらせながら、つぶさに当日の状況を語りました。その様子から、丸一年以上が経過した今でもなお、いかにこの大震災が東北で暮らす方々にとって、大きな影を落としているのかを改めて感じました。

翌日に被災地見学で訪れた南三陸町では、車の通行が出来るよう道路上こそ片付けられていましたが、まだ浸水したエリアには、建物の上に船が乗っていたり、押しつぶされた車が山積みになっていたり、テレビで何度も繰り返し映像が流れた防災庁舎には鎮魂の折り鶴が並べられたりと、津波の爪痕を色濃く残して

いました。

そんな風景の中でも、町には仮設商店街ができ、少しばかりの賑わいを取り戻し、また外国人住民や私達を案内して下さった地元ボランティアの方々、また他地域から来た若いボランティア達も力強く活動していました。

二日間の滞在を通じて感じたことは、ありきたりかも知れませんが、恵みとも脅威ともなりうる自然の力の偉大さと、その自然と共存して暮らしてきた地域の人々の力強さです。幼い頃に、神様は乗り越えられる困難しか与えないと聞いたことがあります。それが本当だとすると、きっとこの未曾有の大震災を、東北三県は乗り越えられるのではないのでしょうか。その証拠に、復興への歩みはゆっくりでも着実に、地元の人々によって進められています。

災害は人・時間・場所を選ばないという意味で、完全な平等主義者だと表現されることもあります。その点から言えば、大阪も例外ではありません。当財団では『防災』の意義を改めて考え、これからも減災に繋がる取り組みを推進していく所存です。

(企画推進グループ吉川 友香)

【02】留学生特集

■ 専門学校の留学生受入と大阪府内の留学生の今後を考える

大阪府専修学校各種学校連合会 (大専各)
留学生委員会 崎村 真

専門学校で留学生の受入が始まったのが、1980年代の後半からでしょうか。最初は、国費の留学生の受入からでしたが、すぐにいくつかの専門学校で日本語学科ができ、私費の留学生の受入が始まりました。私の学校でも1989年に日本語教育学科を開設し、本格的に留学生の受入を開始しました。当時は大学も専門学校も留学生の受入はまだ本当に少なく、また一部に限られていました。当時は日本人の身元保証人がいないと大学や専門学校へ進学ができない時代でした。また留学生に密接な住宅も身元保証人を要求されましたし、そもそも留学生受入が可能なアパート探しに苦労しました。

2000年を過ぎたあたりからだと思いますが、流れが変わってきました。大学や専門学校が積極的に留学生獲得に取り組み始めました。これは、日本の少子化と中国の経済発展がその原動力になったように思います。しかし当時一気に受入を拡大したので、いろいろな不都合も多く発生しました。その一つが不法滞在者の増加です。当時は中国のどこに行っても日本留学希望者であふれていました。中国もようやく私費留学ができるようになったからでしょうか、だれでもが海外留学を希望していた、そんな時代でした。私達の学校は、入学希望者を厳選していたので、大きな問題は出ませんでした。日本の多くの日本語学校や大学、専門学校では、留学生担当者が、かれらの在籍管理に苦しんだ時代です。そんな中で2004年頃から、留学生の受入に法務省主導で、厳格な審査をするようになりました。2008年ごろには留学生の受入は、ようやく安定してきているように思います。府内でも留学生がいることが当たり前になり、地域社会が留学生の受入態勢の整備を進めたことも大きかったと思います。留学生のアパート探しも随分楽になりました。また公共団体のサポートの態勢も随分整ってきたと思います。留学生の就職にも焦点があたり始め、留学生の就職のサポートが各分野で積極的な取り組みが始まりました。留学生のための合同説明会なども多く開催されるようになりました。

さて、その頃から、5年たって、また大きな変化が起きています。それは、留学生の就職についての状況と留学生の国籍についてです。就職について考えると日本全体では、2005年から右肩上がりでも留学生の就職が増加し、2008年をピークに今度は減少に転じました。しかし昨年以降、留学生の採用の動きがまた活性化してきています。一つには、留学生受入の態勢の強化でワンストップサービスをしようとする努力が報われてきたこと。実際、今年の3月には、私達の学校でも専門課程に在籍する留学生の就職希望者をおおむね全て就職させることができました。学校で留学生のための就職指導を本格化させた結果だと自負しています。この背景に円高による中小企業の海外進出が活性化したこともあります。国内採用だけでなく、ブリッジ人材という言葉もよく叫ばれるようになりました。また企業が必要とする人材も東南アジアが増え多様化してきています。この動きに合わせて留学生も今年を起点に東南アジアの諸国からの留学生が増加し始めています。

留学生採用で学校と企業との交流も本格的になりました。私達の学校でも企業との交流会を積極的に実施しています。写真は今年実施した「国際人材活用ネットワーク交流会」の写真です。多くの企業と多くの学校、多くの留学生が参加した熱気ある交流会です。こうした交流会を通じて、企業のインターンシップや採用が増えただけでなく、地域での留学生活用の事例も増えてきています。地域が留学生の存在に気づき、これまでは留学生が困らないようにするために一生懸命でしたが、今度はより積極的に活用しようとして出しています。昨年は浪速区の防災訓練では、留学生が参加し、地域の車椅子のお年寄りへのケアする訓練も

実施しました。また観光に訪れる外国人の通訳サービスで地域の商店街などと協力して留学生が活用されだしています。地域活性化に留学生を活用するメリットに、皆が気づき始めています。

振り返るとあっと言う間の25年ですが、時代の変化の凄まじさを感じます。お客さん扱いだった留学生たちが、本格的に社会の一員として受け入れられる時代になりました。大阪府でも今年より「大阪府国際化戦略アクションプログラム」を開始し、行政が本格的な整備に乗り出しています。留学生を受け入れることが地域の国際競争力を強化し、地域振興の大きなメリットがあると皆が気付いた結果です。この仕事をやってきて本当によかったと思います。

※執筆いただきました崎村先生は大専各留学生委員会でご活躍されるとともに(学)エール学園の理事を務めておられます。

■ 府内の留学生受入状況

【独立行政法人日本学生支援機構のデーターから見た、府内の留学生の状況】

○大阪府内の受入れ学校数

(学校種別)	(受入学校数)
大学・短大	48
専修学校等	74
合計	122

○ 国費・私費別留学生数

	(大学・短大)	(専修学校等)	(合計)
国費留学生	690	51	741
私費留学生	7,050	2,534	9,584
合計	7,740	2,585	10,325

○ 住居形態別留学生数

学校が設置・借上する留学生向け宿舍	1,121
一般学生用寮・宿舍	51
地方公共団体・公益法人が設置する宿舍	150
民間宿舍・アパート等	9,003
計	10,325

○ 出身国(地域)別留学生数 上位5カ国(地域)

(国(地域))	(留学生数)
中国	6,722
韓国	1,067
台湾	623
アメリカ合衆国	218
タイ	198

※調査基準日：平成23年5月1日現在

■ 大阪府堺留学生会館オリオン寮の紹介

大阪府堺留学生会館オリオン寮は、将来の友好の架け橋となる留学生を大阪に呼びこむ為、平成7年に大阪府が設立しました。その後、平成21年に大阪府国際交流財団が譲り受け管理運営を行っています。会館には85名の留学生が住んでいます。半数以上が中国人、次いで韓国、ドイツ、台湾、フランス、ベトナム、ラオス。他にロシア、オーストリア、エルサルバドル、インドネシア、タイ、スリランカからの留学生がいます。2人の管理人が交代で勤務し、寮生を温かく、時に厳しく見守ってくれています。寮生の中には、会館内の事業に率先して参加しOFIXと寮生との橋渡しをしてくれるしっかり者のチューターが男女一人ずついます。今回は、そんな優しい管理人とチューターをご紹介します。

管理人の紹介

● 瀧 純二 管理人

オリオン寮の管理人を始めて3年になります。最初はスペイン・ポルトガル語圏の学生が居ればいいなと思っていましたが、寮生の大半がアジアからの

7月9日に新しく施行された基本住民台帳制度では、出生届が提出されると、住所地の市区町村では、「出生による経過滞在者」として住民票が作成されます。また、入管法の規定により、出生から60日までは、在留資格を有することなく在留することができますが、この期間を超えて在留しようとする場合は、30日以内に入国管理局に在留資格の取得の申請をしなければなりません。在留資格の取得が許可され、中長期在留者となれば、在留カードが交付されます。その他の手続きとしては、生まれた子どもの国の大使館または領事館に出生届を提出して子どものパスポートを申請します。

【大阪府外国人情報コーナー】

Tel 06-6941-2297

E-mail : jouhou-c@ofix.or.jp

英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、タイ語、スペイン語、ベトナム語、フィリピン語

開設時間：毎週月から金 午前9時から午後5時30分

【04】OFIX国際交流員のレポート

■ 笑うフィリピン人

こんにちは。OFIXの国際交流員のアルビンです。今年の夏は大変暑かったですね。皆さんは大丈夫でしたか。夏バテになっていませんか？ もうすぐ秋になりますが、涼しくなるのでしょうか？ さて、今月は「笑うフィリピン人」についてお話します。

初めてフィリピンに行く人は、フィリピン人がよく笑うことに驚かれると思います。そうです。フィリピン人の明るい性格はとて有名です。フィリピン人は笑うのが好きで、よく冗談を言ったりします。だからフィリピンの生活のあらゆる場面でジョークは多いです。学校生活、日常生活、政治家と政府関連のジョークなどいっぱいあります。どんな時でも笑うことができます。例えば、以前に友達と歩いていた時、ある女性が足を滑らせこけたのを見かけました。日本人だったらどうしたのでしょうか、たぶん真顔で恥ずかしそうにその場から早く立ち去るのではないのでしょうか。でも、私が見たフィリピンの女性は笑いながら立ち上がりました。他にも、スラムの人たちを見ても、生活はあまり良くなくても、人々は笑っています。

8月にフィリピンに帰りました。帰った時期にちょうど台風が来ていて、3日間も強い雨が降り続いていたと聞きました。洪水になってマニラの多くのところは水没しました。私の住む地域の浸水は2メートル以上の深さになっていて、車が通ることはできない状態だったので帰れませんでした。水が引いた時、多くの家が壊されていて、多くの物が失われました。近所を歩いてみたら、そんな状態でもまだ笑っている人が多かったです。多くを失った人々だったのに、皆笑っていました。3年前に同じような洪水があった時にも、水位が急速に上がっているにもかかわらず、その危機を気にもせず笑っていたフィリピン人が多かったです。その時に一緒にいた日本人の友達は、とても心配してくれていたのですが、周りの人々の様子を見て大変びっくりしたそうです。

なぜフィリピン人は笑うのでしょうか。性格なのか、文化なのか、わかりません。しかし、言えるのは、毎日様々な困難に遭遇するフィリピン人は、くよくよしたってどうにもならないから、とにかく笑います。多くのプレッシャーとストレスを抱えている日本人も、フィリピン人を見習って、大変な時でも笑ってみればいいんです。笑って少しでもストレスを減らしましょう。もし笑えないのなら、左の僕の写真を見て笑えばいいです。わっはっはっは！！

★大阪府メールマガジン情報★ 『GEO (Global E-net Osaka) 』

大阪で開催されるイベント・大阪の名所・大阪に関する豆知識等を紹介するメールマガジンです！

⇒ <http://www.pref.osaka.jp/kokusai/geo/index.html>

★その他の募集・お知らせ★

※イベントカレンダー：国際交流に関するイベント情報を紹介しています。

⇒ <http://www.ofix.or.jp/cgi/calender.cgi>

※イベントカレンダーへの情報提供をお待ちしています。

⇒ <http://www.ofix.or.jp/cgi/event.cgi>

※国際理解学習の授業（小中高）に国際交流員や留学生等を派遣します。

⇒ <http://www.ofix.or.jp/jigyuu/index2.html>

